

## 「応用水文」論文投稿の手引き

### 1. 編集方針

「応用水文」は、「農業農村工学会 水文・水環境研究部会規約」の下において、水文・水環境に関する学理と応用についての科学研究を推進し、この分野の発展を期することを編集の基本方針とします。また、「応用水文」は、「論文編（査読あり原稿）」と「シンポジウム報告編（査読なし原稿）」から構成されます。このうち「論文編（査読あり原稿）」の原稿は、広く読まれている学術雑誌等に未発表であることが必要です。

### 2. 投稿資格

著者のうち少なくとも一名は水文・水環境研究部会の会員であることを投稿資格とします。ただし招待原稿はこの限りではありません。

### 3. 原稿

査読の有無に関わらず、原稿は「農業農村工学会 水文・水環境研究部会シンポジウム」において発表されたものを対象とします。A4 サイズで 10 頁までとし、題名の和文・英文、著者名・所属の和文・英文、abstract (250words 以内)、要旨 (350 文字以内)、キーワード (5~7 個)、本文 (原則 1 段組) の順として下さい。なお、製本後の仕上がりは B5 サイズとなります。原稿執筆に当たっては「投稿論文テンプレート」をご参照ください。

### 4. 原稿提出先

水文・水環境研究部会事務局。

### 5. 査読

編集委員会は、「論文編」に投稿された原稿について、「応用水文」に掲載されるにふさわしい内容であるかどうかを判定し、質的な向上をはかる目的で、複数（原則 2 名）の査読者による査読を行います。

査読は、原稿が部会誌「応用水文」としての体裁を整え、原稿中に重大な誤りがないようにするもので、良識ある建設的なものとします。なお、2 名の査読者の判定結果が「論文編」としては掲載不可であるが「シンポジウム報告編」としては掲載可となった原稿は、「シンポジウム報告編」に掲載します。

### 6. その他

日程等の詳細は部会ホームページ (<http://ealfor.ans.kobe-u.ac.jp/hydenv/index.html>) をご参照ください。なお、論文の別刷は用意しませんが、ページ等が入った誌面の PDF ファイルを著者に送付します。